

不安を抱える女性を対象とした支援(つながり)【京都市】

総事業費	8,708 千円
交付金額	6,531 千円

地域の実情と課題

【実情】
 ・コロナ感染拡大以降、無償労働(家事・育児・介護)時間が平均的に増加したが、特に有配偶女性で増加した人の割合が高かった(32.5%)。また、特に6歳未満の子どもと同居している女性において「負担が増えている」と回答した割合が高かった(女性32.7%、男性14.6%)。
 ・コロナ感染拡大以降、家庭外との接触の制限によって「健康や精神的に不安(孤立感など)を感じている」と回答した割合が、男性に比べ、女性が高かった(有配偶女性30.3%、無配偶女性33.2%、有配偶男性21.9%、無配偶男性20.0%)。

【課題】
 内閣府において公表された「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会報告書」において、増加している女性の自殺の原因として、経済生活問題、勤務問題、DV被害や育児の悩み、介護疲れや精神疾患などの問題があるとの指摘がなされ、本市においても対象者への早急な支援が求められている。

目的・目標

【目的】
 新孤独・孤立で不安や困難・課題を抱える女性に寄り添い、社会とのつながりの回復を目的として、相談支援等を継続するとともに、女性が日々の悩みを語り合える居場所づくりを実施。

【目標】
 ① 拡充した相談窓口で受け付けた相談件数 240件⇒実績204件 (目標達成度:85%)
 ② 居場所の参加者数 150名⇒実績 84名 (目標達成度:56%)

事業の特徴

孤独・孤立で不安や困難・課題を抱える女性に寄り添い、社会とのつながりの回復を目的として、相談支援等を行うとともに、女性が日々の悩みを語り合える居場所の提供を実施。

① 相談事業
 「京都市男女共同参画センター」において、孤独・孤立で不安や困難・課題を抱える女性を対象とした相談窓口を設置。相談対応では、心理面での寄り添ったサポートを行うとともに、状況に応じて、生活困窮者自立相談支援事業、京都市DV相談支援センター等、必要な相談窓口の情報提供を行った。

② 居場所づくりの実施
 孤独・孤立で不安や困難・課題を抱える女性を対象とした居場所づくり事業(ピアサポート)を実施。

連携団体

<「輝く女性応援京都会議」構成団体>
 京都府、京都市、京都労働局、京都商工会議所、京都商工会議所女性会、京都府商工会議所連合会、京都府商工会議所女性会連合会、京都府商工会連合会、京都府中小企業団体中央会、京都府中小企業女性中央会、京都経営者協会、京都経済同友会、京都工業会、京都府商工会女性部連合会、日本労働組合総連合会京都府連合会、国際ソロプチミスト京都、国際ゾンタ京都クラブ、大学コンソーシアム京都、日本政策金融公庫、21世紀職業財団関西事務所、京都府男女共同参画センター、京都市男女共同参画センター

<その他>
 NPO法人、社会福祉法人等 (ひとり親支援を行う団体、障害者支援を行う団体 等)

事業の効果

孤独・孤立で不安や困難・課題を抱える女性を対象とした相談窓口を継続し、相談窓口の周知のため、SNS広告を活用し、多くの人々に相談窓口の周知を行った。相談者に対しては、それぞれの悩みに寄り添いながら、適切な窓口をつなぐ等、解決や不安の軽減に向けてエンパワメントの方向性を探ることができた。

居場所づくりの参加者アンケートでは「(ほかの参加者と)触れ合う時間が良かった」といった感想があり、他の参加者との交流を通じて、参加者に安心感を与える場が提供できたと評価する。

今後の課題

居場所づくり事業の内容については、時宜に合わせてブラッシュアップしていくことが求められる。若年女性向けの居場所づくりの人数が伸び悩み、周知方法について、若年女性に向けた特定の取組を行っていく。

相談窓口については相談件数が目標を下回り、新規層の開拓や周知広報の徹底が今後も必要。

事業の概要①

■相談事業の継続(「つながる相談室」)

内 容

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、生活や仕事などが大きな影響を受け、孤独・孤立で不安や困難・課題等を抱える女性を対象とした相談窓口の開設を継続した。

相談手法は、電話相談、面接又はオンライン相談と、面接相談者に対しては必要に応じて、行政相談員等が同席し、適切な施策利用についての助言等を行った。

相談員には、精神保健福祉士等の有資格者を起用し、相談事業の開始に先立って、専門家による研修を受講させ、心理面での寄り添ったサポートを行うとともに、状況に応じて、生活困窮者自立相談支援事業、京都市DV相談支援センター等、必要な相談窓口の情報提供を行った。

相談件数 204件

**つながる
相談室**

相談無料
市内在住・在勤・在学の女性
秘密は厳守します

2021年7月1日～2022年3月31日

なんとなく気分が落ち込み、孤独を感じることはありませんか。
長引く自粛生活などによる日常の変化から、しんどさを感じている女性のための相談室です。資格を持った相談員がお話をお聞きし、必要なサポートを一緒に考えます。

どんな内容でもかまいません

- 自粛生活が続き、社会から取り残されている気がする
- イライラして人や子どもに当たることが増えた
- 先が見えず、不安を感じている
- 仕事のシフトが通らされた
- 夫や恋人から暴言を吐かれる
- 子育ての悩み etc...

電話相談窓口 (075)-275-0280
京都市男女共同参画センター ウィングス京都

月～土曜(水曜休室) 10:00～17:00
※祝日・年末年始は休業

オンライン相談可
希望者に直接相談有り(要予約)

相談予約詳細はこちら

京都市男女共同参画センター ウィングス京都
〒604-8147 京都市中京区東河原通六角下る扇形山町262番地
☎ 075-212-8013

相談時間
月～土 9:00～21:00 / 日・祝 9:00～17:00
休館日 水曜・年末年始
https://www.wings-kyoto.jp/

事業の概要②

■居場所づくりの実施(ピアサポート)「つながるスペース」

<p>開催日時</p>	<p>第1回 令和5年 9月 9日(土) 第2回 令和5年10月 7日(土) 第3回 令和5年12月 2日(土) 第4回 令和6年 1月14日(土) 第5回 令和6年 3月30日(土)</p>	
<p>会場</p>	<p>京都市男女共同参画センター ウィングス京都</p>	
<p>参加者数</p>	<p>延べ84名</p>	
<p>内容</p>	<p>孤独・孤立で不安や困難・課題等を抱える女性を対象とした居場所づくり事業(ピアサポート)を実施した。当該事業は、孤独、孤立で不安を抱える女性が集い、参加者が相互に支え合い、社会とのつながりを回復するための場となるよう取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回 子どもと楽しく暮らすシングルマザーの相談カフェ 支援団体：京都市ひとり親家庭支援センター ゆめあす、 (福)宏量福祉会 野菊荘こもれび、(公財)京都市ユースサービス協会 第2回 出張mama*cafe ひとり親女性のためのマネーセミナー 講師：久保田あきみ氏(FPオフィスウーマンプラス代表、社会保険労務士、ファイナンシャルプランナー) 第3回 自分を知る、自分らしく彩る。7colors,7wills. カラーメイクアップワークショップ モデレーター：NaNatural(ナナナチュラル) サポーター：特定非営利活動法人happiness/NPOフラット/公益財団法人京都市ユースサービス協会 第4回 リラックスヨガ～意識がかわれば体もかわる～ コーディネーター：公益財団法人京都YWCA 第5回 40～50代からはじめる！非正規シングル女性のための暮らしとお金安心セミナー 講師：秋口千佳(夢のかけはし(株)代表、ファイナンシャルプランナー、相続診断士) 	

